

サザンカ

【 区画⑭(79), 区画⑰(116, 121), 区画⑳(124, 127) 】

学名	<i>Camellia sasanqua</i> Thunb.	分類	ツバキ科ツバキ属
分布	四国・九州～琉球列島	樹高	7～10m程度の常緑小高木

〈特徴等〉

名前の由来	・ 中国語でツバキ科の植物の花を指す「山茶花」の読みが訛ったことから名づけられた。		
葉の特徴	① 常緑 ・ 落葉	② 広葉 ・ 針葉	
	③ 対生 ・ 互生	④ 単葉 ・ 複葉	⑤ 鋸歯縁 ・ 全縁
開花等	・ 自生しているサザンカは、10～12月頃に、白色の花を咲かせる。		
結実等	・ 9月頃に、表面に毛が生えた果実をつける。熟すと先端が3つに裂け種子がみえる。		
その他	・ 庭木や生垣にされているサザンカの中には、紅花や八重咲きをする栽培品種も多い。 ・ ツバキとよく似ているが、開花時期や果実の表面の毛の有無で区別ができる。		

〈写真〉

		
樹木 (2/26)	樹皮 (2/26)	葉の付き方 (2/26)
		
葉 (2/26)	花 (/)	果実(実) (/)

〈参考文献〉 牧野富太郎 (2017) 『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p. 926.
林 将之 (2018) 『葉で見わける樹木 増補改訂版』小学館, p. 73.